

世界的大企業の中で 存在感増すインド人

インドはオリンピック競技であまり良い成績を挙げていません。スポーツのメダルもあまり獲得していません。しかし、もし国際的な大企業の最高経営職に指名されることに對してメダルが与えられるとしたら、インドはメダルのほとんどを獲得し、世界中での優勝候補国のひとつとなるでしょう。

Googleは先月サンダー・ピチャイ氏を最高経営責任者(CEO)に指名しました。ピチャイ氏がGoogleの新しいCEOに昇進したことで、昨年の収益を合わせると合計でおよそ1600億ドルにもなる4社の経営者4人がインド生まれということになります。この数字はおよそ140カ国のGDP

しながら自らも抜きん出るので、国際的企業においてインド人リーダーが重要な地位を占めるようになっていくこの傾向の背景には戦略があります。それは彼らが新興市場や技能を持つ人的資源によって制約された複雑なビジネス環境で働いてきた経験の結果であると考えられます。高度な技能を伴った経営能力や多文化の仕事経験に加えて、インド人リーダーは、世界中でビジネスを動かす国際語である英語が上手です。

モディが変える インド経済

第8回

インド生まれのCEOが 米国の世界的大企業を先導

インド人は英語能力が高いことで知られている。中でもインド人リーダーは、複雑なビジネス環境で働いてきた経験から、国際的な大企業で重要な地位を占めるケースが増えている。モディ首相が進める「スキル・インド・ミッション」は、この流れをさらに加速させることになるかもしれない。

に等しいものです。4人のCEOとは、Google(2014年度収益660億ドル)のピチャイ氏、Microsoft(14年度収益860億ドル)のCEOであるサティア・ナデラ氏、Epsico(14年度収益67

0億ドル)のCEOであるインド人ヌーイ氏、そしてNokia(14年度収益141.4億ドル)のCEOであるラジブ・スリ氏です。さらに10社以上の世界的ブランドのCEOがインド出身です。

「スキル・インド」で人材確保

インドはまだ識字率100%ではなく、教育を受けたインドの学生は外国企業で働くことを選択し、米国やその他の国へと行ってしまふのは事実です。このギャップを埋め、誰もがインドのGDPに貢献できるようにするために、モディ首相は野心的な新しい計画を立ち上げました。その計画とは「スキル・インド・ミッション(インドの職能開発ミッション)」と呼ばれるもので、22年までに4億人の労働者が完全に識字能力と技能を持つようにすることを目標とするものです。Googleが

新CEOを発表したとき、モディ首相はツイッターで自らピチャイ氏にお祝いの言葉を述べ、インドからリーダーが生まれる

ことは良い兆候であるが、同時に自国内の企業が成長する必要がある、そうすれば若者にとって刺激を与えることになると思えます。

労働力の減少が見られる他国と比べ、インドはこれから次の10年のあいだ4千万から5千万人の労働力が余剰となります。過去にはインドには自国の知的人材を生かすためのインフラや環境がありませんでしたが、インドは世界的な人的資源の中心地となる必要があるため、現在は技能開発が注目されています。

インド人は、生来の技能とキャリアのトップにたどり着くという野心によって、ゆつくりとではありますが確実に国際市場を獲得しつつあります。世界経済は、技術やビジネス戦略におけるイノベーションや主要企業のさまざまな事業分野が持続可能

CEOまたはCOO(最高執行責任者)とは、営業、マーケティング、人的資源、生産、日常業務などの組織のすべての側面に責任を持つ人のことです。大企業のCEOは通常、過去の実績、ビジネス上の人脈、全般的な社会的地位、ビジネスに関する洞察力などいくつもの条件や指標を慎重に検討された後に指名されます。何千人もの従業員を抱える数十億ドル、数百億ドル規模の大企業のCEOとして現在何人もインド人が指名されていることは大いに誇るべきことです。

人材研究者によると、インド生まれのリーダーは、技術的に正当であることを別にしても、自らの業務や社会環境において「明敏な適応能力」を発揮します。それによって大企業内でも成長し、会社の成長にも大きく貢献

な成長を強化する必要がある中で急激な変化を経験しています。大規模なグローバルゼーションが進み、新興市場における多国籍企業の影響力や存在感が高まっているため、国際的企業でインド人が重要な地位を占めるといふこの傾向は、今後も強まる一方でしょう。



帝羽ニルマラ純子

(ていは・にるまら・じゅんこ)インド共和国・バンガロール生まれ。法政大学大学院修了(イノベーションマネジメント専攻)。日印コンサルタント会社起業を経て、現在インドビジネスアドバイザー。来日以後16年間で、日本企業の海外展開、外国企業の日本市場参入支援を中心に活躍。「日本人が理解できない混沌(カオス)の国インド 政権交代で9億人の巨大中間層が生まれる」(日刊工業新聞社)など著書多数。



PHOTO:EPA=時事

若者の職能開発を目的とした「スキル・インド」を指導させたモディ首相